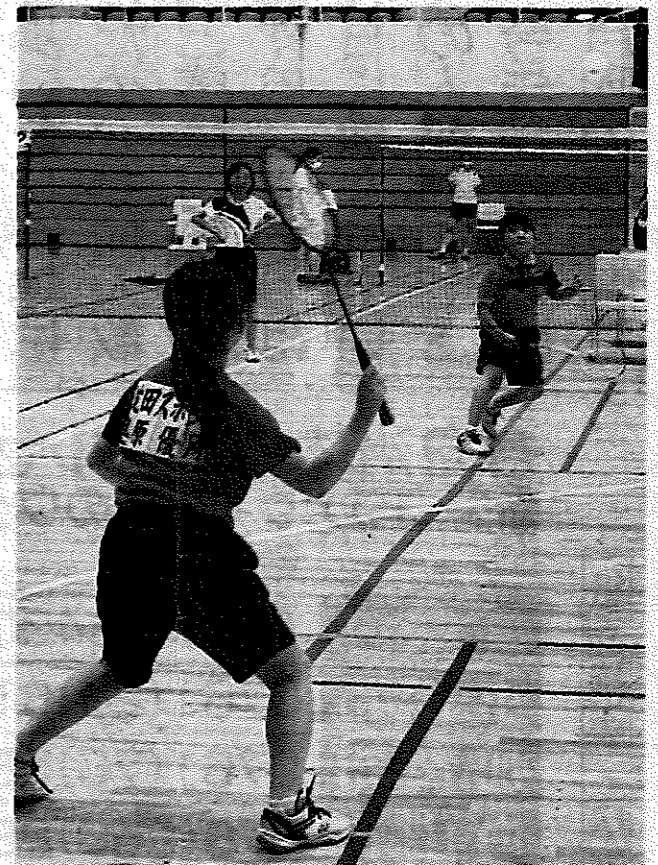


## 金沢と松本の児童 バドミントン交流



激しいラリーを繰り広げる選手たち＝長野県松本市総合体育館で

長野県松本市と金沢市は二十三日、松本市総合体育館で小学生によるバドミントンの交流大会を開き、両市から三十五人が参加して爽やかな汗を流しながら親睦を深めた。

両市は文化・観光交流都市協定を結び、毎年交互にスポーツ交流大会を開いてきた。新型コロナウイルスの影響により三年ぶりの開催で、両市の地域のクラブに所属する小学生が出場した。

試合は三ゲームマッチで、選手たちは機敏にコートを駆け回り、激しいラリーを応酬。得点が決まるとガッツポーズをして喜んだ。

金沢の選手らは二十四日に松本市内の国宝松本城や美術館などを見学する。同市スポーツ推進課の大島良司課長は「スポーツを通じて互いの街を知り、金沢の選手には松本を好きになってもらいたい」と話した。

(右田誠弥)